科目名	環境デザイン論		
授業形態	講義	学年	2
開講時期	2023 年度 前期	単位数	2
担当教員	柳原　博史、岩井　達弥		
内容および計画	前半は、環境デザインに関わる基本的な事項を講義し、続けて不特定多数の人が集う、都市の公共空間の在り方について考える。公共空間とはどのような場所かという定義を踏まえ、現在の私たちの生活様式、価値観の多様化、地域性、自然生態系や地球環境問題などの背景を考慮しながら、公共空間のデザインの可能性を探る。またその中で、建築と外部空間の関係、コミュニティ、アクティビティなどのテーマに踏み込み、講義と、短時間での実践的な課題製作を行う。後半で扱う光環境は、人間の知覚情報の中で最も情報量の多い視覚に関わることから、環境デザインのなかで重要な位置を占めている。この基礎から応用までを解説することで光についての理解を深め、その効果を生かした建築都市の環境照明デザインができるような知識を養う。		
1	イントロダクション		
2	環境デザインの基本事項１（都市環境、自然環境、庭園、公園、里山などについて）		
3	境デザインの基本事項２（地形、植生、スケールなどについて）		
4	境デザイン設計概論（造成、舗装、排水など）		
5	環境デザイン設計概論（植栽）		
6	建築と屋外空間		
7	アクティビティとコミュニティ		
8	小課題１（建築と屋外空間）		
9	小課題２（地域性のある公共空間）		
10	小課題２・レビュー		
11	照明の基礎１　明るさ、色温度、演色性などについてとその相互関係について解説する		
12	照明の基礎２　光と心理、光と生理などを建築都市照明デザインの視点から解説する		
13	照明デザイン１　建築都市照明デザインの基本的考え方とそのプロセスについて解説する		
14	照明デザイン２　建築都市照明デザインの事例を紹介しそれぞれのデザインの特徴を学ぶ		
15	最新の照明技術　新しい技術に触れることにより、建築都市照明デザインの未来を考える		

教科書

タイトル	著者名	出版社	ISBN	発行年

必要に応じて資料を配布

参考書	『ランドスケープエコロジー』武内和彦著、朝倉書店、2006 年（改訂版） 『最高の植栽をデザインする方法』（建築設計シリーズ 2）　建築知識編（最新版）2014 年 『照明デザインハンドブック』　一般社団法人　照明学会編

成績評価

評価方法	割合(%)
レポート・ミニ設計課題等	70
出席状況	20
授業態度	10

学習到達目標	身の回りの環境及びデザインについての視野を広げること
先修条件	なし
実務経験	
その他	必須・選択の別：選択